

FGF23抗体burosumabの研究開発 ～ Life changing な価値を有する日本発のブロックバスター ～

山崎 雄司 先生

協和キリン株式会社

研究本部 研究企画部 東京リサーチパーク長



日 時 2026年11月6日(金) 16時00分～17時20分
場 所 京都大学薬学部 講義室C(医薬系総合研究棟)

本講義では、低リン血症性くる病・骨軟化症の惹起因子として同定されたFGF23について、「FGF23関連低リン血症性疾患」という新たな疾患概念と、根本的治療薬として創製された**FGF23 中和抗体 burosumab**の研究開発と臨床応用について紹介して頂きます。**Burosumab**は2019年に日本で保険適用され、現在では50ヶ国以上で承認され、8,000名以上の患者に使用されています。本研究成果は、2024年度**日本薬学会・創薬科学賞**の受賞対象となりました。

本講演会は博士後期課程特論として開催されます(KULASIS参照)

連絡先: 創薬有機化学分野(大野)

hohno@pharm.kyoto-u.ac.jp 075-753-4571